

追悼！ 野呂汎弁護士

野呂さん、ありがとう



2017/11/3
ヲシス21
CANブースで
子ども達と

野呂汎弁護士が、昨年の12月に旅立たれました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

10月に「暑い夏を乗り切りました。さあ食欲の秋、楽しみましょう」と握手してお別れしたのが最後になってしまいました。消費者行動ネットワーク(CAN)では、毎月1回、野呂汎弁護士事務所の隣にあるCKKホールをお借りして事務局会議を開催してきました。差し入れのお摘みとビール、ワインでワイワイ、ガヤガヤ、事務局各位、月1回リフレッシュできる場でもありました。

野呂汎弁護士は、「野呂先生」ではなく「野呂さん」と親しみを込めて呼ばれていました。国や大資本に対しても一歩もひかず、市民の命と健康、権利を守るために体を張って闘ってきた老闘士。本来なら近寄りやすい存在のはずなのに、常に私達市

民の中に身を置き、耳を傾け、助言してくれました。60数年にわたる弁護士活動で培われた知識と幅広い人脈を活かしたサポートは、心強くてのものでした。とりわけ市民と専門家を積極的に繋いでいただいたことが心に残っています。

抵抗だけでなく対話と提案、日本の市民社会の成熟とともに活動スタイルは幅広く多様になってきました。野呂さんは、体制に取り込まれることなく市民の側で「抵抗の旗」を一貫してかがけ続けてられました。野呂さんありがとう。ゆっくり体を休め晩酌してください。(大村昌宏)

* 野呂汎弁護士の講演「四日市公害裁判」の記事を再掲載します。 →次ページ